血の祝祭日（1963）

BLOOD FEAST

メディア 映画
ジャンル ホラー
製作国 アメリカ
時間 70分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

製作当時はいざ知らず、今やスプラッター・ムービーの始祖として映画史に名を残すＨ・Ｇ・ルイス。その中でも、この作品こそがその第一号。いわば全てのスプラッター・ムービーの元祖なのだ。物語は、自らを古代エジプトの高僧の生まれ変わりだと信じる料理屋の男が、次々と若い女性を殺害しその血肉を生け贄として神に捧げているというもの。だがこんなありふれたストーリーはどうでもよく、主眼はもっぱら延々と展開される血の饗宴という事になる。はらわたは抉り出され、頭はかち割られ、目は潰される。女たちは肉塊と化して血溜まりに頽れる……。下手糞な演出やカメラワークが、これほどまでにリアリティを生み出すものなのだろうか。作り物とは判っていても、この凄惨な描写の臨場感には並々ならぬものがある。１９６３年、この年にこんな映像を作り上げていた男、Ｈ・Ｇ・ルイスは紛れもなく“フィルムの狂人”だ。

【クレジット】

監督	ハーシェル・ゴードン・ルイス	Herschell Gordon Lewis
製作	デヴィッド・Ｆ・フリードマン	David F. Friedman
	スタンフォード・Ｓ・コールバーグ	
撮影	ハーシェル・ゴードン・ルイス	Herschell Gordon Lewis
音楽	ハーシェル・ゴードン・ルイス	Herschell Gordon Lewis
出演	コニー・メイソン	Connie Mason
	トーマス・ウッド	Thomas Wood
	マット・アーノルド	
	スコット・ホール	
	リン・ボルトン	
	トニ・カルヴァート	Toni Calvert
	ジーン・コーティエ	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.